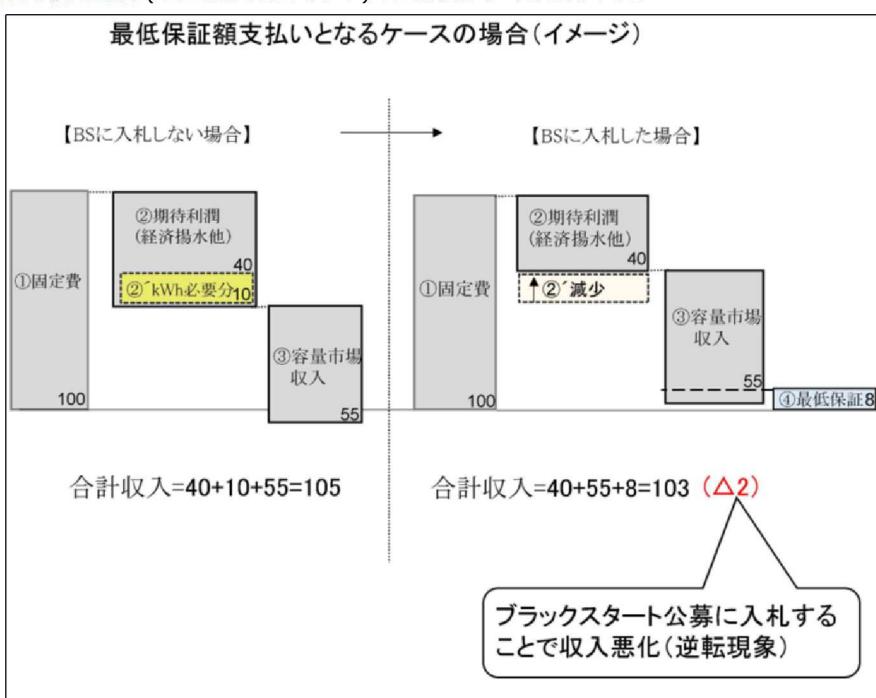


# 2024年度 ブラックスタート機能（2028年度向け）公募 RFC意見

番号	該当箇所 (例：要綱〇章1 (1) ■■)	意見	回答
要綱 1第8章 入札価格 及び最低保証額	<p>(要旨) 今回の純揚水の上池容量( kWh必要量)の確保を求める見直しに伴い、「最低保証額」の考え方についても見直しが必要と考えられることから、公募記載内容の一部見直しをお願いしたい</p> <p>(内容)          ・現在、BS公募においては、容量市場収益控除後の精算額が最低保証額以下になる場合は、「最低保証額」を精算するルール。          ・現行の公募記載内容のままだと、最低保証額にて精算を行う純揚水については、上池容量( kWh必要量)分の発電機会を失うにもかかわらず、その分の収益が得られないことになり、入札のインセンティブが大きく低下する(入札しない方が経済合理的になるケースが発生。BS機能を提供しているにもかかわらず、損するルール作りは避けるべきではないか)          ・そのため、最低保証額に「上池容量( kWh必要量)の確保に伴う発電機会損失額(減収益額)」を織り入るよう、公募記載内容を一部修正いただきたい</p> <p>(修正案)          「第8章 入札価格および最低保証額」より抜粋、以下赤字を追加。          「最低保証額は、上記年間費用のうち、ブラックスタート機能を維持するために追加的に発生する非常用発電機に係る費用、訓練費等の年間費用、<b>kW・kWh必要量の確保に伴う減収益額</b>（適正利潤を含みます）の金額としていただきます。」</p> 	<p>・最低保証額に関する、第52回制度設計専門会合の整理の前提は、「△kW期待利潤 + kWh期待利潤 &gt; BS機能を発揮するのに必要な設備の固定費」の関係において、「BS公募に入札しないことが発電事業者としての合理的な行動となり、その発電所のブラックスタート機能の廃止に繋がるおそれがある」とから、これを回避する方策として、「最低保証額」が設定されているという認識です。</p> <p>・このため、上記の関係式を維持できている状況においては、最低保証額によりBS特有機能を維持する必要があると考えています。</p> <p>以上を踏まえ、募集要綱については原案通りといたします。</p> <p>なお、今回のkWh必要量確保を踏まえ、第52回制度設計専門会合の整理内容の見直しを求められる場合は、電力・ガス取引監視等委員会へご相談ください。</p>	